

学校行事参加型＋講演会型＋子育てサロン型＋在宅取組型（中学校）



団体名	関市立板取川中学校
実施日	平成28年10月7日(在宅取組10月8日から1週間)実施
会場	板取川中学校・各家庭
参加人数	全校生徒60名の家庭
学習課題(分野)	社会問題(情報機器の使い方)・「わが家の約束」運動
運営者の願い	ネットトラブルに巻き込まれないよう、親も子ども学びたいと願うPTAの生活環境委員会と家庭教育委員会との合同で講演会を開催。また、全家庭が参加できるように「話そう! 語ろう! わが家の約束」運動のカードを使い、約束づくりを進め、情報機器と使い方や家庭での過ごし方について家族でさらに話し合ってもらいたい。

学習の内容

<講演会>

テーマ:講演会 情報モラル「情報機器の使い方」

講師:外部講師

◇あいさつ(役員・生徒)

- ・講演会の学びの視点について(情報メディアについて親も正しく理解を)
- ・「話そう! 語ろう! わが家の約束」運動につなげて

◇[第1部:生徒向けワークショップ(保護者参観)]

- 人によって受けとめ方が違う。友達との違いを感じて理解しよう。
- 相手によって嫌な言葉は違うことを理解して、相手を傷つけず、明日気まづくならない対応を考えよう。

◇[第2部:保護者向けミニ講座]

- ・保護者の不安や質問についての講座

- 子ども達に知識はあるが知恵はない。
- 相手の気持ち・危険を想像する知恵を親が教えていく。家族のコミュニケーションや会話が、子ども達のコミュニケーション能力を上げていく。

<子育てサロン型学級懇談会>

◇家庭教育プログラム(小・中学校編)

NO.11「ちょっと待って! ケータイ・スマホ～わが家の約束～」

司会:学級担任

- ・お茶・お菓子を準備。
- ・アイスブレイク(好きな食べ物を入れて自己紹介)
- ・ワーク1「子どもにケータイスマホは必要だと思いますか。与えたとしたら、保護者としてどんなことを子どもと話し合いますか。」について話し合う。



(子育てサロンの様子)

<在宅取組「話そう! 語ろう! わが家の約束」へ>

実践カード: 家庭で話し合った約束、生徒の振り返り、保護者の励ましの言葉を書き込むことができ、取組を通して親子の会話が生まれました。

<参加者の感想>

- ・ネット上には様々な情報が溢れ、便利な反面恐ろしくもあります。ネットの情報を鵜呑みにせず自分で考え、判断できる力を身につけてほしいと思います。このような情報モラル等を家庭でもよく話し合っていきたいです。(保護者)
- ・便利なツールの一つであり、大人にとって、今ではなくてもならないものになっている。使い方をきちんと考えていけるようになってほしい。(保護者)
- ・取組の間、毎日約束を守れたのでよかったです。高校生になっても遅くまでやらないように心がけていきたいと思います。(生徒)



<H28年4月に再編>

- 関市立板取中学校
 - 関市立洞戸中学校
- が再編し、
□関市立板取川中学校としてスタート

<事前に実態を把握>

- ・保護者向け通信で、取組のお願いをするのと同時に、「ネットやスマートフォンの使用に関する質問」をアンケート調査し、事前に保護者の実態を把握した。

<二部構成の講演会>

- ・講演会を、生徒向けワークショップと保護者向けミニ講座(事前アンケートの質問タイム)の二部構成にし、親の学びを深められるようにした。

<家庭教育プログラムを活用した子育てサロン>

- ・岐阜県教育委員会発行の家庭教育プログラム『みんなで子育てⅢ』を活用し、保護者同士が同じテーマで語り、学び合う場をもつことで、保護者同士の結びつきを高める機会にされた。

<講演会・子育てサロンで意識を高め約束運動へ>

- ・情報モラルや約束への意識が高まった翌日から、全家庭で「話そう! 語ろう! わが家の約束」運動をスタート。約束作りから実践を通して、親子の会話が生まれ、これからの生活に活かすヒントを見つけることができた。